

さいわい虹便り

No.82

発行者 深井純子 吉田唯之 齊藤淳子 小島ゆかり 篠沢香

手に持たれたバッグも手
りで素敵な刺し子がほどこ
されています。



荒明アヤ子様は、洋裁や手芸
が大好きで、いろいろな作品を
作られ楽しまれています。その
中で今回は、刺し子を紹介して
いただきました。

花ふきん（刺し子）

作品介绍

不思議なこと
に表と裏で違う
柄になるのが刺
し子の魅力です
ね。



お子様が小さい頃の
洋服は全て手作りされ
ていた腕前です。
「今も手を動かして
いる時間がとても楽し
くて、まったく疲れな
いの。」とおっしゃら
れていました。他にも
レース編みなどの作品
を見させていただきま
したので、別の号でご
紹介させていただきます
と思います。

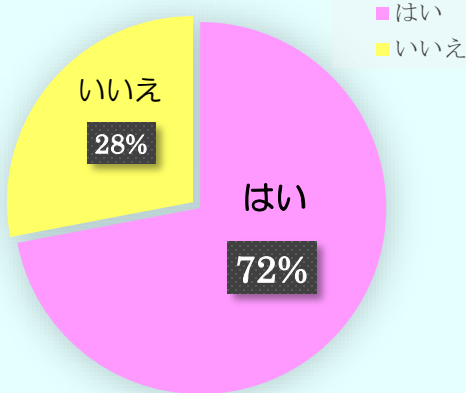
さいわい虹便りは、ホームページでもご覧いただけます。
(バックナンバーも公開中です。)


<https://sekishinkai-zaitaku.jp>

QRコードからも
アクセスできます



ペットと暮らしていますか？



ペットを飼育している現状

前回の虹便りでは、『動物と暮らす』と題しアニマルセラピー効果についてご紹介いたしました。今回は、ペットから得られる癒し効果とは反する、ペットと高齢者の問題について考えてみたいと思います。



ペットを飼育するきっかけ

- ・可愛らしさに惹かれ、ペットショップで購入する
- ・知人から譲り受ける
- ・子や孫が飼っていたペットを譲り受ける、引き取る
- ・迷い犬を保護し、そのまま飼ってしまう
- ・野良猫が棲みつき、食べ物を与えているうちになんとなく飼ってしまう

ペットを飼うことによる問題点

- ・飼い主が病気や入院によって飼育できなくなり、ペットだけが残されてしまう
- ・ペットが気になり、通院や入院、施設等への入所を拒むことで、高齢者自身の健康に問題がでる
- ・ペットから危害を加えられ皮膚病や感染症を引き起こす
- ・ペットの世話ができなくなり、生活環境が劣悪となり近隣トラブルに発展する
- ・ペットへの依存心が強まり周囲との接触が希薄となり孤立化する

ペットはあなたの財産

ペットは法律上、飼い主の**動産**とみなされます。他人が勝手にペットの処遇を決めることはできません。いざという時、ペットの未来を守ることが出来るのは、飼い主であるあなたの『意思』なのです。忘れないでください。あなたのペットたちはあなたと出会ったときから、あなたとともに生きています。



でも、どうしても飼えなくなったら・・・



- 一、民間事業者のサービスを利用したり、動物病院などで専門的なアドバイスを受けてみましょう
 - ・ペットシッターやトリミングサロンなどのサービスがあります
 - ・動物病院が入院や往診の相談に乗ってくれます
- 二、一時的に預かってもらう先を見つけておきましょう
 - ・親戚、ご近所、友人などに頼む
 - ・ペットホテルを利用する

三、新しい飼い主に委ねることを考えましょう

- ・新しい飼い主を自分で探す
- ・動物愛護ボランティアに相談する
- ・老犬・老猫ホームなどで世話をしてもらう



四、ペットについて相談してみよう

- ・行政機関などでもペットに関する相談を受け付けています



五、飼い主の「万が一」に備えよう

- ・ペットのための遺言を残す
- ・ペットのための信託を利用する



最後に・・・

今はまだ、高齢者向けの施設はペットと暮らすことができないところがほとんどです。しかし、高齢者によつては世話ができないことや、一緒に住めないことが精神的なダメージとなり体調の悪化につながります。そうした問題に着目し高齢者とペットを支える施設やサービスが少しずつ増えています。



【参考文献】かわさき犬・猫愛護ボランティアリーフレット
「残されるペットのためにあなたができること」無責任な飼い主にならないために」
川崎市動物愛護センターリーフレット



問い合わせ先

川崎市健康福祉局保健所 動物愛護センター

TEL：044-589-7137

FAX：044-589-7138

PETtomorrow「地域で取り組みたい高齢者とペットの問題」を考える

https://petomorrow.jp/news_dog/34230

ペットの防災について

九月は、防災月間です。

災害はいつ起こるかわかりません。

災害が起きたときに最初に行うのは

飼い主自身や家族の安全確保ですが、

ペットの安全確保についても普段から

考え備えておく必要があります。

今回はペットの防災用品についてご紹介
します。



ペットのための防災用品として「命に関わるもの」「他のものでは代用できないもの」を準備しておく必要があります。

人の防災グッズと一緒にしておくもの

● 常備薬・処方薬

- ・ 数日分を余分に用意しましょう

● 動物手帳（飼い主や動物の記録）

- ・ 既往歴、健康状態・飼い主の連絡先
などが役立ちます

● 動物の写真

- ・ 迷子になった時探す手掛かりになります

● リード（犬や猫の場合）

- ・ 連れて歩くときに必ず必要になります



ペットの防災用品

● エサと水（最低五日分）

● リード・キャリーバック・クレート

● 糞取り袋・ペットシート・新聞紙

● 食器

● ポリ袋

● カイロ・冷却シエル等

ゆとりがあれば・・・あると便利なもの

● 毛布・バスタオル

● おもちや

● 手入れ用品

● ビニールシート

避難の時に、全て持ち出せるとは限りません。

様々な場合を想定し持ち出し順位をつけておきましょう！

ペットの種類や、災害の種類ごとに日常の準備や災害時の対応について詳しく情報が載っており大変参考になります。

NPO法人アニスのホームページ

『アニス動物と共に避難する』

検索

アニス動物



<http://animal-na-vi.com/> <http://animal-na-vi.com/>

編集後記

日中は、まだまだ暑い日が続いていますが、夜耳を澄ますと虫の
声が聞こえるようになり季節が変わり始めているのを感じます。

編集者

森由貴 渡邊文祐 本間有由実 新庄裕子
宮本祥代

